

『聖書勉強会』

エリザベト 小林 瑠美子

昨年の十一月、月一回のブルーノ神父様による聖書勉強会の仲間達と多治見の修道院へ行って来ました。この日、多治見駅へ、神父様がマイクロバスで迎えに来て下さいました。勉強会のあと昼食になりましたが、神父様は、「昨日から、用意しました」とおいしいお吸い物を作って出してくださいました。みんなで感謝して、おいしくいただきました。そのあと、ぶどう園やお聖堂など見学し、神父様方の眠られるお墓にお参りし、帰りも、神父様がマイクロバスで、多治見駅まで送ってください、一同大感激の一日でした。

この勉強会グループは、一九七二年、ゲオルグ・ゲマインダ神父様が、南山のカテキスタ修道院の一郭にフィラデルフィア会音の文庫を創設された「活字による読書が不可能な方々のために録音図書を製作し、日本全国に無料で貸し出す」という仕事をお手伝いして

いたボランティアの人々です。本を読む人、校正をする人、テープを袋に入れて、貸し出しをする人、郵便局へ運ぶ人、もどったテープの整理をする人、経理をする人など、たくさんボランティアに支えられて、運営されていましたが、三ヶ月前、東京の点字図書館と合併することになり、テープ図書は、MDにすべて録音しなおされて、東京へ送られました。そのあと、施設の有効活用的一端として、ボランティアに携わった方々が主で、聖書講座が始まりました。現在、南山教会の信者さんも参加して、月一回聖書の勉強をしています。勉強のあとは、お茶をいただきますながら、楽しいおしゃべりがはずみずみです。時には、神父様のすばらしい歌もきかせていたり、和やかなひとときをすごしています。神父様は、現在、多治見の神学校から、このグループのために、月一回来てくださいます。出来ることで、お手伝いをはじめた音訳ボランティアでしたが、私の中では、大きな実を結び、毎回この勉強会に感謝して足を運んでいます。

『聖マリア在俗会 人々の中で人々と共に!』

聖マリア在俗会員 須藤 ヨシ子

聖マリア在俗会は一九五四年ゲオルグ・ゲマインダ神父（神言修道会）によって日本で創立されました。一九四七年在俗会に関する教令「プロヴィタ・マートル・エクレジア」を手にした神父はこれこそ社会にも教会にも必要とされている生き方であると感ぜられました。そこには人々と共に生活しながら、信徒として神に全く奉獻された新しい道が示されています。

この教令の発布を「時のしるし」として受け止め一九五四年名古屋教区長認可のもとで「聖母カテキスタ会」を創立されました。

聖母カテキスタ学院・修練期・初誓願を立てた会員は全国の教会、幼稚園、病院などそれぞれの場に派遣されて地の塩、力あるパン種として福音的に存在し、世の中からキリストのものに変えていく使命を生きようと励んできました。

新教会法の発布にともない、在俗会の特性が明らかになり総会で会憲の改訂を行った後、総長とその評議会は許可を使徒座に申請しました。

その後一九八〇年に福音宣教省の布告をもって聖座法による在俗会として正式に承認されました。

会員の生活は、奉獻と使徒職「福音的勧告に従う三誓願（貞潔・清貧・従順）」と使徒職の誓いを生きています。それは使徒として社会の一般的な生活条件のもとで生活をし、世の現実の諸価値、社会、政治、経済、文化、教育、宗教などをキリスト者の責任を持って正しく用いながらすべてに福音の精神を浸透させるように召されています。

奉獻生活の源は「祈り」です。会員は日々の祈りとミサ聖祭を召命に生きる活力として大切にしています。

また会員は神から同じ使命に呼び集められ、信仰にもとづく一致ときようたいな愛の交わりによつ